

地域デザインフォーラム・ブックレット

No.14

# 地域の産業振興

## —ビジョン策定を受けて—

大東文化大学・板橋区  
地域デザインフォーラム

## 地域デザインフォーラム・ブックレット

- No. 1 コミュニティビジネスが地域を変える
- No. 2 板橋区民のコミュニティ意識調査
- No. 3 高齢者の社会参加の促進
- No. 4 産学公連携による学生ベンチャー支援
- No. 5 イノベティブな板橋をつくる—現代産業集積の研究—
- No. 6 コミュニティビジネスと地域の活性化
- No. 7 板橋区と大東文化大学の地域に開かれた「知の資源」
- No. 8 高齢者の社会参加の促進—総集編—
- No. 9 政策評価制度
- No.10 産業振興ビジョン策定に向けて
- No.11 住民参加
- No.12 新しい市民大学をめざして
- No.13 政策評価制度（総集編）
- No.14 地域の産業振興—ビジョン策定を受けて—
- No.15 協働社会の実現に向けて
- No.16 板橋コミュニティ・カレッジ構想

## 地域デザインフォーラム・ブックレットについて

大東文化大学と板橋区は2000年5月から地域連携研究「地域デザインフォーラム」を始めました。これは、大学と行政が連携して、地域の政策課題を共同研究するものです。

研究期間は2年を1期としていますが、まず2003年度までの4年間は、「まちづくりとコミュニティ」、「高齢者福祉」、「地域産業の活性化」の3つを課題として研究し、ブックレット No.1 から No.8 までの8冊の研究結果報告書などを発行しました。

2004年度からは研究課題を新しく「政策評価制度」（第1分科会）、「産業振興ビジョン」（第2分科会）、「住民参加の促進」（第3分科会）、「コミュニティ・カレッジ」（第4分科会）の4課題とし、2004年度末に中間報告として No.9 から No.12 までの4冊のブックレットを発行しました。今回発行する No.13 から No.16 までの4冊のブックレットは、その後の研究結果も含め、4分科会の2年間の研究結果の全体をとりまとめたものです。

地域の課題に、行政だけでなく多くの方々が連携して取り組んでいくことの重要性はこれからも増していくと思いますが、私たちの地域デザインフォーラムの活動に関心を持たれる方々などに、このブックレットが利活用していただければ幸いです。

なお、地域デザインフォーラムの活動の詳細は、次の大東文化大学のホームページでご覧いただけます。

<http://www.daito.ac.jp/gakubu/hougaku/itabashi.html>

2006年3月

### 地域デザインフォーラム第三期研究員一同

- |       |       |       |       |       |      |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 第1分科会 | (大東大) | 武田知己  | 東田親司  | 松尾敏充  | 山口由二 |
|       | (板橋区) | 白石淳   | 杉谷明   | 安井賢光  |      |
| 第2分科会 | (大東大) | 上遠野武司 | 土井幸平  | 中村昭雄  | 中村年春 |
|       | (板橋区) | 相田治昭  | 小池喜美子 | 富澤賢一  | 横田昇  |
| 第3分科会 | (大東大) | 内藤二郎  | 花輪宗命  | 濱本知寿香 | 渡部茂  |
|       | (板橋区) | 今福悠   | 山崎智通  | 渡邊茂   |      |
| 第4分科会 | (大東大) | 浅野美代子 | 首藤禎史  | 土岐寛   | 和田守  |
|       | (板橋区) | 杉山光治  | 真崎裕子  | 松田玲子  |      |

# 目次

序文	1
第1章 構想の策定概要とゾーン別施策の方向性	3
1 構想の策定について	3
2 23区の用途地域と工業集積の現状	6
3 企業動向調査 ～ゾーンで比較してみる	10
4 本社等事務所機能の状況	17
5 ゾーン別施策の方向性（試論）	19
第2章 産業振興構想と新産業育成	23
1 中間報告概要と構想	23
2 プロジェクト実施にあたっての視座	25
3 産業振興構想実現に向けて	33
第3章 板橋区産業振興と都市計画	35
1 はじめに	35
2 用途地域制の目的と変遷	36
3 用途地域からみた板橋工業集積の特徴	38
4 板橋工業集積マップにおける課題	40
5 住工共存を目的とした「舟渡3丁目地区・地区計画」	41
6 今後の研究課題	45
第4章 広域的展開による板橋区工業の優位性	46
1 グローバル化と中小企業	46
2 区工業の課題	49
3 中小企業の広域化による板橋区工業の優位性	53
4 これからの中小企業	56

第5章 商店街を形成しない個人商店	61
1 概説	61
2 区内個人商店の現状	62
3 小売業（個人商店）に対する支援策の現状	64
4 今後の個人商店支援策の基本的な方向について	68
5 尼崎市における商業振興	70
6 今後の小売業の存続に係る私見	72
7 むすび	74
第6章 消費者から見た魅力ある商店街	76
1 はじめに	76
2 快適な生活環境の創造をめざす「まちづくり」	77
3 むすびに代えて	89
第7章 地域経済の活性化と産業政策	91
1 はじめに	91
2 制度改変下の地方自治体	92
3 問題の所在	94
4 公的介入の根拠	95
5 公的介入の可能性	98
6 政府の失敗	101
7 むすび	103
あとがき	105
資料編	
1 板橋区産業振興構想	106
2 板橋区産業活性化基本条例	145
研究活動記録	148

執筆者一覧

## 序文

21 世紀に入り、日本社会は歴史的、構造的な大転換期を迎えている。この構造変革の主要なキーワードは規制緩和であり、ハイテクノロジー、高度情報システム、グローバル化、地方分権、少子高齢、そして地球環境問題などである。このような日本社会の変化のなかで地域社会を取り巻く環境も大きな変貌を遂げ、対応の転換を迫られている。これからの地域社会の形成には、産学公民の連携による対応が不可欠である。

本書は、大東文化大学と東京都板橋区による地域連携研究である地域デザインフォーラム第2分科会の研究員が、板橋区産業振興構想策定検討会に委員（メンバー）として参加し、上述のような視点に立って、板橋区産業振興構想の策定のにあたり、検討されるべき課題や論点について調査研究を行った結果の報告である。長引く不況にやや明るい兆しが見えたとはいえ、いまだ既存の製造業や商業に明るい将来展望を抱きにくい状況に変わりはなく、それが結果的に経済活動や生活の多方面に悪影響を及ぼしている。そのようななかで、既存産業が置かれている状況や直面している諸問題、地域資源を活用して描ける板橋区産業の将来構想について検討を加えたものである。

本年度、板橋区は、今後おおむね 20 年後の将来像を想定した新たな基本構想を策定した。そこでは、板橋区の将来の姿を「いきいき暮らす緑と文化の町“板橋”」と描いている。この基本構想は、区民一人ひとりの健康と生活を大事にするとともに、地域のふれあいや産業の活力を手段として、安全でうるおいのあるまちづくりをめざすものである。とくに産業の分野においては、「こころ豊かなふれあいと活力のあるまち（人びとの交流と活力ある産業に支えられた地域社会）」を区が取り組む施策の方向として示し、具体的には、「産業が発展するまち」、「地域資源を生かした新たな産業を創造するまち」の実現をめざしている。

板橋区は、古くから産業の盛んな都市で、現在でも工業は、従

業者数、製造品出荷額、付加価値額において東京都 23 区中第 2 位を占めている（2003 年工業統計）。また、東京都内でも有数の工場集積地域であり、23 区のなかで随一の内陸部における工場専用地域を有している。さらに、全国でも珍しい地区計画における産業育成街区も有している。

しかし、板橋区においても産業を取り巻く社会経済状況は、大きな変化に遭遇している。板橋区内産業についていえば、次のような課題がある。

工業では、親企業、関連企業の生産機能の海外移転による集積の低下、海外技術の向上等による競争激化、工場跡地へのマンション建設による操業環境の悪化、企業の存続や技能継承を図るための人材確保などである。商業では、池袋等の商業集積地への購買力の流出、工場跡地等への大型店の進出による周辺商店街の売上げの減少や客の流れへの影響などである。農業では、農地の保全や確保、後継者難などの問題により、生産農家や農地の減少傾向が続いている。

このような板橋区産業を取り巻く環境変化と課題に対応するため、2005 年 4 月、板橋区は、「板橋区産業活性化基本条例」を制定し、産業の活性化の基本的方向を定めた。板橋区産業振興構想は、板橋区産業の将来像を明確にし、産業活性化の方策を示すものである。また、板橋区基本構想に示された板橋区の将来の姿を、産業の側面から実現する方策を示すものである（板橋区産業振興構想策定委員会『板橋区産業振興構想』1 頁より）。

本書は、「序文」、「第 1 章 構想の策定概要とゾーン別施策の方向性」、「第 2 章 産業振興構想と新産業育成」、「第 3 章 板橋区産業振興と都市計画」、「第 4 章 広域的展開による板橋区工業の優位性」、「第 5 章 商店街を形成しない個人商店」、「第 6 章 消費者から見た魅力ある商店街」、「第 7 章 地域経済の活性化と産業政策」、「あとがき」によって構成されている。これら各章で取り上げられた内容が板橋区産業振興構想の具体化にあたって参考となれば幸いである。